

阿蘇神社

鎮座地： 埼玉県富士見市東大久保 8 3 番地

祭 神： 阿蘇比女之命（あそひめのみこと）

合祭神： ・素戔鳴尊 ・菅原道真公 ・大日靈尊（おおひるめのみこと）
・宇迦之御魂命 ・市杵島姫命（いちきしまひめのみこと）



<社碑 及び 鳥居の前から、参道・拝殿を見る> ↑

社碑 と 鳥居



拝 殿



拝殿 正面から（入母屋）↑



覆殿 鬼瓦・懸魚 ↑



拝殿 ⇔ 覆殿 (本殿)



右横からの、本拝殿⇔覆殿 (本殿) ↑



拝殿の右横から、覆殿



右横から、覆殿

神社の説明文より



■信仰：

- ・五穀豊穰
- ・家内安全
- ・商売繁昌
- ・学業成就
- ・交通安全
- ・諸厄払い

■由緒：

創立年代不詳なれど旧来一村の鎮守なり、明治5年村社に列せらる。

「阿蘇比女之命」は、神武天皇の皇子、神八井耳命（かむやいみのみこと）の第六子、健磐龍命（たけいわたつのみこと）が阿蘇の地を開拓し、その土地の阿蘇都媛命（あそつひめのみこと 阿蘇比女之命）を娶って住んだ。その後この命の子、速瓶玉命（はやみかたまのみこと）が祖神として祀ったのが阿蘇神の起りである。従って、開拓祖主、農耕神であった。

「日本紀略・弘仁14年（823）十月の条・従四位下勲五等、健磐龍命に、封二千戸を充て奉る。この神、災旱（えんかん）の時祈れば即ち雨を降らし国を護り民を救う」と記される。

「貞観元年（859）神階累進して正二位に達した。阿蘇比女之神も同17年、従三位に進んだ」。

江戸末期、斉藤月岑（げつしん）刊行（文化1年～明治11年）の「江戸名所図絵」の記載に同社の棟札文が見られる。「永正元甲子年（1504）奉造立阿蘇大明神本殿成就所 七月大吉祥日。別當本山修験萬蔵院。」同棟札後面「天下太平國土安全氏子繁。比下文字讀み得べからず」。

由緒板： 社務所新築記念 平成21年1月吉日

■境内社：

- | | |
|-----|----------------------------------|
| 八坂社 | 素戔鳴尊（すさのおのみこと） |
| 山神社 | 大山祇命（おおやまつみのみこと） |
| 子安社 | 木花開耶姫命（このはなさくやひめのみこと） |
| 疱瘡社 | 大己貴命（おおやむちのみこと）・少名彦命（すくなひこなのみこと） |
| 稻荷社 | 宇迦之御魂命（うかのみたまのみこと） |
| 琴平社 | 崇徳天皇（すうとくてんのう） |

■祭典（年中行事あるいは祭事）：

- | | |
|----------|------------|
| 一月一日 | 元旦祭 |
| 二月二十三日 | 祈年祭（豊年祈願祭） |
| 四月十九日 | 春大祭（春祈祷） |
| 七月十四、十五日 | 八坂神社祭（天王様） |
| 十月十九日 | 秋例大祭（お日待） |
| 十一月二十九日 | 新嘗祭（新穀感謝祭） |

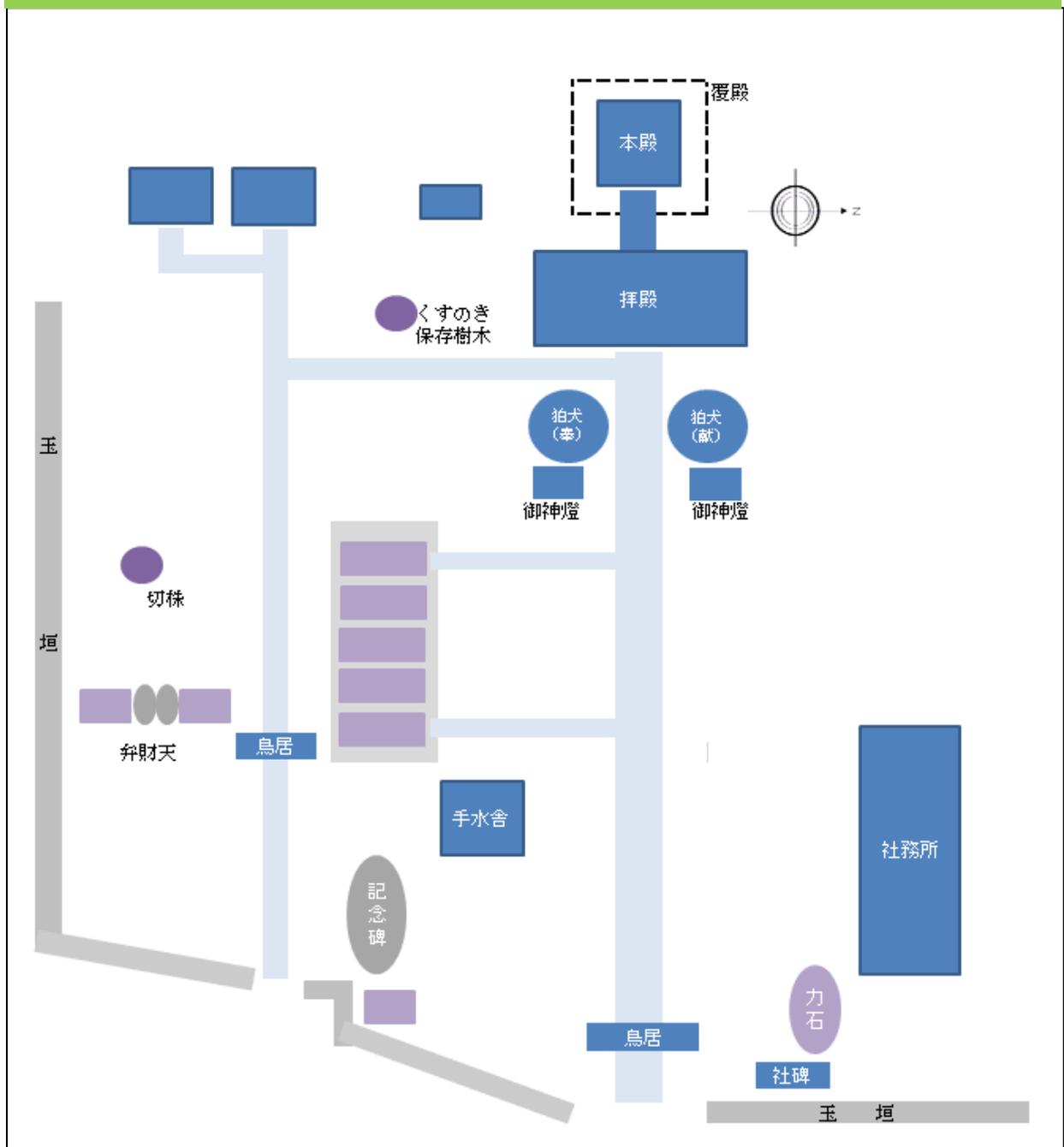
★東大久保の鎮守で、女神を祀り山の名がついた神社は。

東大久保にある阿蘇神社の祭神は阿蘇比女之尊（あそひめのみこと）で、九州の阿蘇神社がルーツで、武蔵国では東京都羽村市とここにしかない貴重な神社であると、「江戸名所図絵」に記載されています。

かつて、修験道（しゅげんどう）の寺で難波田城跡にあった十玉院（じゅうぎょくいん）の配下に置かれ、万蔵院（まんぞういん）が別当になっていたと思われています。

中世では古谷郷（川崎市）の古谷信秀の一門の中筑後守資信の産土神（うぶすながみ）と伝えられています。

境内の概略配置図



玉 垣



神 木

入間神社誌（昭和46年発刊）では、
杉 周囲六尺 樹齢百年位となっていたが見当たらなかった
それらしき切株あり



手水舎



神楽殿

入間神社誌（昭和46年発刊）では、
神楽殿が存在しているが
見当たらなかった

御神燈



狛 犬



摂末社・境内社

残念ながら

祠に神社名が表記されていないので、神様の特定ができない

(阿蘇神社の説明文には下記の境内社が記載されている)

八坂社

山神社

子安社

疱瘡社

稲荷社

琴平社

力 石



記念碑 大廟参拝記念碑 (竹内鹿女太郎謹書)

<力石> 阿蘇神社には2つの力石があり、そのうち1基のみ重量が判明 (約113キログラム)

富士見市ホームページ「観る・楽しむ・学ぶ」⇒「市内のみどころ」⇒「歴史探訪『ふじみ・発見!』」⇒NO.15・・・境内に眠る「力石」

に記載されています。

記念碑



阿蘇神社玉垣造営記念碑
平成7年十月十九日

弁財天像



弁財天
文政二巳卯年 四月吉日

蛇は弁財天の使者とされていることから、蛇の姿をした人頭蛇身の像や、頭上に蛇を刻む弁財天像が社や祠にまつられています（「頭上に蛇を刻んだ弁財天像」）

富士見市ホームページ「観る・楽しむ・学ぶ」
⇒「市内のみどころ」⇒「歴史探訪『ふじみ・発見!』」⇒NO.21・・・水と蛇
に記載されています。

記載日：2015/1/24

この内容は、「神社の説明文」と「郷土富士見検定問題集」、「入間神社誌」、「富士見市ホームページ」等から、記載しています。